

対応すべき課題及び取り組みの方向性

資料1-3

(導入すべき都市機能を実現し、持続的に発展させていくための課題)

	ハード面	ソフト面
交流促進機能	・交流促進機能をもつ都市開発の促進 ⇒ 機運醸成、開発者の意図の共有、開発促進手法の活用	・イノベーション、経済開発、ベンチャー育成 ・サービス(グローバル対応、ストレスフリー) ・人材育成、人材活用 ⇒ 開発者、利用者、新規事業者との関係性構築
交通結節機能	・道路・鉄道整備及び交通広場の再編 ⇒ 関係事業の連携・共有による最適性 ・新しい交通システム・技術の導入 ⇒ 実証事業(自動運転、顔認証など)	・利用者目線でのわかりやすさ ・地域の回遊性の向上(MaaS) ⇒ 新規事業者進出促進と、関係性構築事業者の連携
都市空間機能	・オープンスペースの確保 ・空間の高質化となつかしさ・界隈性の維持 ・まちの面的な広がり(グランド・デッキレベルでのまちの広がり) ⇒ 公共事業と民間開発の連携	・段階に応じた連携(整備案の作成、整備空間の活用、維持・更新) ⇒ 多様な官民の連携組織
全体	・新大阪の取り組みを広く知ってもらうための取り組み ⇒ プロモーションの実施 ・ハード・ソフトの開発プロジェクト組成に向けた検討の推進 ・民間活力の導入 ⇒ 関連事業者や学識経験者との意見交換など(自立したまちづくり組織への発展)	